

居合道 だより

第165号





はじめに

本来ならば桜花爛漫の話で始まるはずだったのに、2ヶ月続きで新型コロナウイルスの話題になろうとはまことに残念至極である。

会員の皆様もさぞご心配ご不便のことだろうと拝察する。

全剣連も来月までのすべての事業が中止もしくは延期になった。世界中の状況を鑑みれば当然ではある。東京五輪さえ1年間の延期になったのだから。

4年に一度の五輪に向けて最高のパフォーマンスをしようと準備をしてきた選手にとっては本当に気の毒である。特にスピードやパワーを競う競技選手にとっての1年間は単なる1年間ではない。

すでに決定や内定した選手の処遇についての問題も取り沙汰されている。

個人的には彼らの権利を担保すべきだと考えている。仮に一年後にもっと勝てそうな選手が出てきてもである。選手達が死に物狂いの努力でつかみ取った権利である。未だ人間が制御できていない新型コロナウイルスのせいで開催が遅れるのであ

るからして、何者をも彼らの権利を奪い取ることは出来ないと思っている。

そもそも五輪とは人類の平和の祭典ではないか。世界選手権やワールドカップとは訳が違う。勝利至上主義や商業主義に走ってはならない。これを機にみんなで原点に戻って考え直すべきである。

かつての五輪でジャマイカのボブスレーの選手が転倒してもゴールにたどり着いたり、アフリカのどこかの国の水泳選手が溺れそうになりながらもなんとか泳ぎ切って、観客の万雷の拍手を浴び、テレビ観戦した我々にも最高の感動を与えてくれたではないか。

金メダルよりもはるかに尊いものがある。

5月3日に京都で開催予定だった居合道8段審査を受審するはずだった剣友が数名いる。

彼らには本当に気の毒である。しかしスピードや力を競うスポーツとは違って、居合道の審査は己の心と技を披露するものである。延期になったからと悲観してはいけない。出来ることならより錬り上げる期間を頂いたと思って欲しい。

我々は今回、今当然あるものが一瞬でなくなる現実があることを知らされた。

自分でコントロールできないものを考えても仕方がない。今居合が出来ることに感謝して、今出来る最高の準備をしようではないか。

長くて暗いトンネルの先にある、聖火にも似た希望の灯火を見つめながら。

主な活動

3月 1日（日）

福岡県居合道段位審査会

居合道部

武道館

四月・五月の予定

コロナウイルスの影響で5月末までの全ての行事が中止となりました

お知らせ

福岡県剣道連盟居合道部公式 LINE を開設しました。

AI でのチャットができます。順次内容も AI が勉強してお答えできるように進化していきます。また、行事の予定などもわかる範囲でお答えできるように内容が入っていますので登録の方よろしくをお願いします。

4月1日時点ではまだ知識が豊富ではありません。腕前は4－5級というところですが面白い会話をすればするほど AI が稽古して知識を高めていきます。

現状は居合道に興味を持った方がどんな質問をするかなどの想定となっておりますが、いろいろ聞いて稽古つけてやってください。聞いたことに対する返答を用意して次回の稽古時には答えられるようになります。成長に何卒ご協力お願いします。

登録は LINE を開いてホーム（左下）、友達追加（右上）、QR コードで読み込んで



ください。

まずは皆様 AI の名前をつけていただきたく募集いたします。LINE で「名前をつけるよ」って話しかけてください。

会員の声



飯塚居合道同好会 雪平 望さん



飯塚居合道同好会 辻塚奈緒子さん

令和元年度居合道初心者体験教室受講者対談

飯塚居合道同好会 雪平 望さん／飯塚居合道同好会 辻塚奈緒子さん／インタビューー 広報委員 高津

高津「まずは体験教室修了と1級合格おめでとうございます」

雪平・辻塚「ありがとうございます」

高津「では最初の質問、なんで居合道を習おうと思ったの？」

雪平「最初和のものが習いたくて剣道しようと思ったんですが、年齢的に自信がなくて、実はちょっと人から勧められて入門しました」

辻塚「私は元々刀とかに興味があって、私も剣道しようと思ったんですけど、飯塚のHPを見たら緩くやってると書いてあったのと、女性が何人か参加されてると書いてあったので参加を希望しました。私が来たときはすでに歳の近い雪平さんが居られたので良かったです」

高津「かなり緩めにやったつもりですが、体験教室の稽古はキツかったですか？」

辻塚「やはり最初は普段使わない筋肉を使っていたせいか、しばらく筋肉痛がしていました」

雪平「私も最初は少し筋肉痛しました」

高津「まあ2-3ヶ月は変に力も入っているんで筋肉痛するでしょうね。僕もそうでした。稽古の最初の頃の印象は？」

辻塚「おじさん方が鏡に向かって必死に刀振っていてちょっと見慣れない光景で、声をかけていいののかも分からなくて……」

雪平「そうそう、異様な光景ですよ。鏡に向かって刀振ってるって(^)」

高津「途中の稽古はどうでしたか？」

辻塚「雪平さんも居られたので良かったです。私一人じゃちょっと折れてたかもです」

高津「稽古は緩かったろ？」

雪平・辻塚「厳しかったですよ～!!」 高津「そ、そんなあ～そんなはずはない……(汗)」

高津「んーまじか！ちょっと見直さないかなあ。これより緩くってどうやればいいんだ？」

高津「じゃあ次、審査の時の感想聞かせてください」

雪平「めっちゃ緊張しました！頭が真っ白で！」

辻塚「私も頭が真っ白で心臓がバクバクで、気がついたら知らん間に終わってました」

高津「二人ともなかなかのものでしたよ。で合格した感想は？」

雪平「もっと練習しなきゃ」

辻塚「もっと磨きたい、稽古したい！もっと上手になりたい！」

高津「素敵なお知らせです、9月の審査では今度初段を受審することになりますが、もれなく学科がついてきますw」

雪平・辻塚「え～@@」

高津「お二方とも受かってからの成長がすごい！それまでやってなかった七本目以降も吸収して、十二本目までついて来れるようになってきています」

辻塚「ちょっとできるようになったら次のステップを登れるような感覚が嬉しいです」

高津「ではこれから先の目標は？」

雪平「長～く続けていきたいです」

辻塚「私ももっと稽古したいです。鏡に向かっておられる先生方のように！」

高津「その時はお二方にも指導に回っていただきますよ ^^」

この二人全くタイプが違うのですが、雪平さんは思い切りがいい！迷わず振ってくるが、少し荒っぽい。

辻塚さんは正確に振り下ろすが、迷いながら考えながら稽古している。考えすぎて“ちょいミス”するタイプです。

初段に向けて熱心に稽古をしている将来が楽しみな2人です。

編集後記

4月といえば、年度替わり、満開の桜は咲き誇り、進学、新入学、新入社員と新しい道を歩き出す人も多いこの季節です。こんないい季節に！こらっコロナ！もうあっちいけ！

「保菌者の体調が良好でも近づいたらうつるかもしれない」というなんとも恐ろしいこの病気は本当に厄介ですね。皆さん手洗いうがいを頻繁に！あと腸内環境を整えるのもいいそうです。身近なのは漬物でしょうか？ヨーグルトでしょうか？

まるで「六次の隔たり」のように広がっていくこの新型コロナ。

友達の友達……と6階層で世界中の誰とも繋がるという考え方です。

全く知らない武漢の誰かから発症して今やメルケル独首相やジョンソン英首相、コメディアン志村けんさんまで繋がって、ある意味世界中の人間がつながっているんだよ！というメッセージにも取れる。

ポジティブに考えれば同じ戦いでも「人間同士が戦う愚かな戦い」よりも人間が一丸となってこの見えないウイルスというモンスターに立ち向かうのはある意味「人間らしい戦い」のかもしれませんが、それにしても厄介です。

せめてこれで地球全体で連帯感ができて世界での戦争や争いが無くなればいいのだけど。

「しかし、いつになったら安心して居合ができるんでしょうね？」

「んーこの騒動が終わった頃な！」

「アイーン！」

＊ 4月29日午後11時ごろ文中のコメディアン志村けん様をご逝去されました。長年にわたり、人を楽しませ、笑顔にしてくれたことに感謝いたします。居合道部一同、心よりご冥福をお祈りいたします。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第165号 令和2年4月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社FEW